

**農業科3年生が、幼稚園児の第2回自然体験学習を指導しました。
～サツマイモの生育観察とブドウの収穫体験～**

9月5日（月）に、農業科3年生（果樹選択）の4名が、鉾田幼稚園の園児18名に、第2回自然体験学習「サツマイモの生育観察とブドウの収穫体験」を指導しました。

バスで農場に到着した園児たちは、「よろしくお願いします」と元気よく高校生にあいさつ。その後、第1回自然体験学習で、6月1日に植えたサツマイモの生育観察をしました。園児たちは、長く伸びた茎を見て、驚いた表情や、得意気な表情をしていました。高校生が1株を掘ると、大きく育ったサツマイモがいくつも出てきて、園児たちは、拍手をして大喜びしました。

その後、果樹園に移動。園児たちは、たくさんのブドウがなった栽培棚の下を楽しそうに歩いていました。そして、収穫。うまくできるか少々不安な表情をしていた園児たちは、高校生の指導のもと、自分で選んだブドウを収穫して、誇らしげな笑顔を見せてくれました。

約1時間の農場での滞在を終えて、園児たちは「ありがとうございました」と高校生にお礼を言って、自分で収穫したブドウ（巨峰）と、学校で栽培した梨（豊水）を持って、帰路に着きました。

園児を指導した農業科3年の生天目尊琉さんは「園児たちの笑顔を見ることができて、とてもうれしく思いました。ブドウや梨をおいしく食べて、農業に興味をもってもらいたいと思います」と話してくれました。

第3回自然体験学習は、10月12日（水）に、サツマイモの収穫体験を行う予定です。

[第1回自然体験学習のようす\(6月1日\) \(ibk.ed.jp\)](http://ibk.ed.jp) ※クリックしてください。

1 サツマイモの生育観察



2 「こんなに伸びたよ」と幼稚園児



3 高校生が1株を掘りました



4 サツマイモを観察



5 ブドウの収穫体験



6 ハサミの使い方を教える高校生



7 ブドウの収穫



8 ブドウの収穫



9 ブドウの収穫



10 ブドウの袋づめ



11 収穫したブドウを持ち帰りました 12 園児からお礼のあいさつ



13 園児を見送り



14 茨城新聞の記者の取材を受けました

